

(別表第1の4)

事業所名 グループホームつどい

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 4 月22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	ご家族のご意見を聴く機会は①面会時②運営推進会議③年2～3回の家族会④電話連絡等があるが、主に感謝の言葉を聞くことが多い。職員としてはありがたいが、もっと本音をお伺いして、日々のケアや運営に反映させたい。	ご家族が遠慮なく、ご意見を述べられるような工夫をし、ご意見を日々のケアや運営に反映する。	①事業所独自のアンケート調査を実施する。②家族会ではご家族同士の会話ができるように配慮して、事業所に対して、忌憚のないご意見を出していただく。	12 か月	
2	10	介護計画はご利用者・ご家族の意向、職員間の事例検討、3ヶ月毎のモニタリング、状況変化に添って作成している。個別の介護計画を、よりいっそう職員が共有し、ケア目標を意識しながらケアを実践してゆかねばならない。	ご利用者の望む生活を実現するために、ご利用者ひとりひとりのケアの目標を職員が認識し、共有して実践する。	①直近のモニタリング、ケアチェック表、介護計画を毎日の生活記録の前ページに綴じて、職員が目を通し易くする。②職員誰でも、気づきがあれば、毎日の朝会で即、発表・記録し、計画作成者がケアプランに反映する。③月1回の事例検討会で個々のケアの目標を再認識し、実践に活かす。	6 か月	
3	13	災害対策について。消防署の立ち会いを求めたり、夜間想定での訓練の実施、緊急連絡網の試験的实施、災害時の対応を地域住民と具体的協力内容について話し合う等、順次取り組みをしてゆきたい。	災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築く。	①防災チェックリストに基づき体験実践、備蓄品の整備と管理、利用者、職員、地域住民参加の避難訓練は継続する。②28/4/27には夜間想定での避難訓練を行う。③職員の緊急連絡網の試験的实施、地域住民代表者の緊急連絡網の試験的实施を行う。④避難訓練には消防署の立ち会いを求める。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )